

チーム

東 中 学 校
女子バレーボール部通信
最終号

3月31日(月)

『感謝の気持ち』を胸に！

「真剣な中にも楽しさを。楽しさの中にも真剣さを。」

「顧問が身をもって必死にボールをつなぐ姿・楽しむ姿を見せることで、生徒たちのさらなるやる気を引き出す。」

先日の『東中学校バレーボールフェスティバル』のねらいです。(先生が勝手に考えたものですが、皆さん温かく賛同してくださいました・・・) 他校の先生方も口をそろえて言っていました、きっとあのようなイベントは最初で最後でしょう。今、先生の胸には感謝の気持ちでいっぱいです。先生が顧問になったのは6年前です。初めて触るバレーボール、当然ながら知り合いなどおらず、練習試合をすることさえ困難な状況でした。しかし、今回来てくださった先生方をはじめ、たくさんの先生方が温かく迎えてくれました。今こうやってバレー部の顧問を続けられるのも、たくさんの好成績を収めることができたのも、多くの人の支えがあったからこそです。本当に感謝しても感謝しきれないというのが、心からの本音です。



これまでも何度も言っていますが、ぜひ、みんなにも『感謝の気持ち』をもち続けてほしいと思います。家族・仲間・他校の選手・顧問など、たくさんの人の支えがあるからこそ、みんなは好きなバレーを目一杯できるのです。その気持ちさえ忘れなければ、必ず最後まで頑張りが続けられるはずです。

【一生懸命の先に・・・】

「一生懸命やりきったからこそ、今は楽しく思えるし、こうやって去ることをさみしく感じられる。」

先日の閉会式で伝えた内容です。みんなは今、本当に一生懸命取り組んでいますか？

【保護者の皆さんへ】

お子さんからお聞きかと思えますし、先日、新聞発表でもあった通り、今日をもちまして東中学校を去ることになりました。現在のバレー部の保護者の方をはじめ、これまで在籍した6年間、バレーボールのことを何も知らない私のことを、保護者の方は温かく支え、見守ってくださいました。保護者の方の温かさを感じることができたからこそ、また、子どもたちの一生懸命頑張る姿を間近で感じる事ができたからこそ、私自身今日までやってこれたと思っております。

私自身、寂しい気持ちもありますが、子どもたちは必ずやりきってくれると信じております。今の時代、保護者の理解と協力なしには、部活動を運営していくことは難しい状況です。今後ともバレー部の活動へのご理解とご協力、よろしくお祈りします。本当にありがとうございました。

